

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2001-301507
(P2001-301507A)

(43)公開日 平成13年10月31日 (2001.10.31)

(51)Int.Cl.⁷
B 6 0 N 2/48
A 4 7 C 7/38
B 6 0 R 21/055
22/10
22/26

識別記号

F I
B 6 0 N 2/48
A 4 7 C 7/38
B 6 0 R 21/055
22/10
22/26

テ-マコ-ト(参考)

3 B 0 8 4

3 B 0 8 7

H 3 D 0 1 8

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全5頁)

(21)出願番号

特願2000-119449(P2000-119449)

(22)出願日

平成12年4月20日 (2000.4.20)

(71)出願人 000002967

ダイハツ工業株式会社

大阪府池田市ダイハツ町1番1号

(72)発明者 田中 晋司

大阪府池田市桃園2丁目1番1号 ダイハツ工業株式会社内

(74)代理人 100107308

弁理士 北村 修一郎

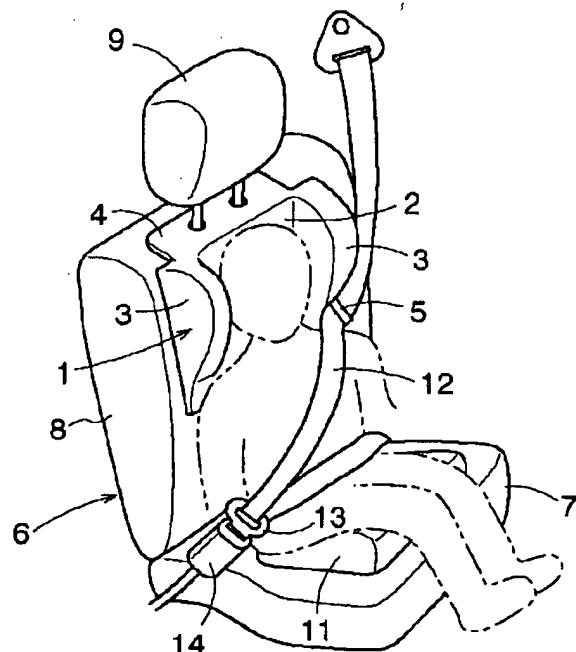
Fターム(参考) 3B084 DA03 DA07 DB01 DC01 JA03
3B087 DC06
3D018 CA05 CA09

(54)【発明の名称】 小人用のヘッドレスト

(57)【要約】

【課題】 園児や児童をシートに着座させて、シートのシートベルトを園児や児童に掛けた場合、園児や児童の頭部がシートのシートベルトに寄り掛かるような状態になることを避ける。

【解決手段】 シート6の背もたれ部8に当て付けられて乗員の頭部を支持する本体部2、本体部2の右横部分及び左横部分から前方に突出する横支持部3、並びに、シート6のヘッドレスト9の取付部に取り付け及び取り外し自在で本体部2及び横支持部3の位置を決める取付部4を備えて、小人用のヘッドレスト1を構成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 シートの背もたれ部に当て付けられて乗員の頭部を支持する本体部と、前記本体部の右横部分及び左横部分から前方に突出する横支持部と、前記シートのヘッドレストの取付部に取り付け及び取り外し自在で前記本体部及び横支持部の位置を決める取付部とを備えてある小人用のヘッドレスト。

【請求項2】 前記本体部及び横支持部の位置を上下方向に変更自在に、前記取付部を構成してある請求項1に記載の小人用のヘッドレスト。

【請求項3】 前記シートに備えられたシートベルトの位置を決めて案内する案内部材を、右横側又は左横側に備えてある請求項1に記載の小人用のヘッドレスト。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は乗用車や商用車、バス等の車両において、シートの構成に関する。

【0002】

【従来の技術】 車両のシートに取り付けるチャイルドシートとして、乳児や幼児用のチャイルドシートがある。乳児や幼児用のチャイルドシートは一般に、乳児や幼児が着座する座部、乳児や幼児の背中を受け止める背もたれ部、及び乳児や幼児の頭部を支持するヘッドレスト等を一体的に備えて構成されており、チャイルドシート自身にシートベルトが備えられている。これによって、シートのシートベルトにより、チャイルドシートをシートに取り付けるように構成されている。

【0003】 前述のような乳児や幼児用のチャイルドシートに対して、もう少し成長した園児や児童等の小人用として、例えば図5に示すように、園児や児童が着座する座部のみを備えて構成されたジュニアシート11がある。これにより、ジュニアシート11に備えられたベルト等(図示せず)によって、ジュニアシート11をシート6の座部7に取り付け、園児や児童をジュニアシート11に着座させた状態で、シート6のシートベルト12を園児や児童に掛ける。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 シート6のシートベルト12は例えば図5に示すように3点式が多いので、ジュニアシート11に園児や児童を着座させ、シート6のシートベルト12を園児や児童に掛けた状態において、例えば園児や児童が寝てしまつて園児や児童の頭部が横側方に倒れると、園児や児童の頭部がシート6のシートベルト12に寄り掛かるような状態になってしまふことがある、好ましくない。本発明は園児や児童等の小人をシートに着座させて、シートのシートベルトを乗員(小人)に掛けた場合、乗員(小人)の頭部がシートのシートベルトに寄り掛かるような状態になることを、避けることができるようすることを目的としている。

10

【0005】

【課題を解決するための手段】 [I] 請求項1の特徴によると、シートの背もたれ部に当て付けられて乗員(小人)の頭部を支持する本体部と、本体部の右横部分及び左横部分から前方に突出する横支持部と、シートのヘッドレストの取付部に取り付け及び取り外し自在で本体部及び横支持部の位置を決める取付部とを備えて、小人用のヘッドレストを構成している。

【0006】 これにより、小人用のヘッドレストをシートに取り付ける場合、シートのヘッドレストの取付部に小人用のヘッドレストの取付部を取り付ければ、シートのヘッドレストの取付部から小人用のヘッドレストが吊り下げられる状態となり、小人用のヘッドレストの本体部がシートの背もたれ部に当て付けられる状態となって、小人用のヘッドレストの位置が決まる。

【0007】 以上のように小人用のヘッドレストをシートに取り付けた状態で、シートに園児や児童等の小人を着座させると、小人用のヘッドレストにおいて、乗員(小人)の頭部が右側及び左側の横支持部の間に入り込み、本体部によって支持されるのであり、この状態でシートのシートベルトを乗員(小人)に掛ける。従って、前述の状態で乗員(小人)の頭部が横側方に倒れようとしても、乗員(小人)の頭部が右側又は左側の横支持部によって受け止められるので、乗員(小人)の頭部がシートのシートベルトに寄り掛かるような状態を避けることができる。

【0008】 [II] シートのヘッドレストの取付部は、シートのヘッドレストをシートの背もたれ部に支持する為の支持ロッドや取付孔等が備えられており、シートのヘッドレストの取付部の位置は略決まっている。これにより、請求項1の特徴のようにシートのヘッドレストの取付部に、小人用のヘッドレストの取付部を取り付けるように構成すれば、シートの背もたれ部の肩部に掛け取り付けるような構成に比べて、小人用のヘッドレストの位置が決まり易い。

【0009】 [III] 請求項1の特徴によると、小人用のヘッドレストがシートに取り付け及び取り外し自在に構成されているので、必要な場合に小人用のヘッドレストをシートに取り付けておけばよく、不必要な場合は小人用のヘッドレストをシートから取り外しておけばよい。この場合、請求項1の特徴によると、小人用のヘッドレストに乗員(小人)が着座する座部が備えられていないので、小人用のヘッドレストは、あまり大きなものにはならず軽量なものとなる。これにより、必要な場合に小人用のヘッドレストをシートに取り付けたり、不必要な場合に小人用のヘッドレストをシートから取り外したりすることが楽に行えるのであり、取り外した後の保管場所に大きなスペースが必要ない。

【0010】 [IV] シートのヘッドレストの取付部は、一般に車種に応じて形状や構造が全く異なると言う

20

40

50

ようなことはなく、車種にあまり関係なく同じような形状や構造を持つものが多い。これにより、請求項1の特徴のように、小人用のヘッドレストの取付部をシートのヘッドレストの取付部に取り付け及び取り外し自在に構成すれば、小人用のヘッドレストを色々な車種のシートに取り付けたり取り外したりすることが可能になる。この場合、シートのヘッドレストや取付部に改造等を施したり、シートのヘッドレストや取付部を別のヘッドレストや取付部に交換したりする必要はない。

【0011】[V] 請求項2の特徴によると、請求項1の場合と同様に、前項[I]～[IV]に記載の「作用」を備えており、これに加えて、以下のような「作用」を備えている。請求項2の特徴によると、小人用のヘッドレストにおいて、本体部及び横支持部の位置を上下方向が変更できるように取付部が構成されているので、乗員（小人）の身長等に応じて、本体部及び横支持部が適切な位置となるように設定することができる。

【0012】[VI] 請求項3の特徴によると、請求項1又は2の場合と同様に前項[I]～[V]に記載の「作用」を備えており、これに加えて以下のような「作用」を備えている。シートのシートベルトは、シートに大人が着座した場合、乗員（大人）の適切な位置を通るように構成されていることが多い（例えばシートのシートベルトが乗員（大人）の肩部付近から胸部及び腹部を横切るような状態）。これにより、シートに園児や児童等の小人が着座した場合、シートのシートベルトが乗員（小人）の適切な位置を通らないような状態になることがある（例えばシートのシートベルトが乗員（小人）の頭部や首部を通るような状態）。

【0013】請求項3の特徴によると、小人用のヘッドレストにおいて、シートのシートベルトの位置を決めて案内する案内部材が、右横側又は左横側に備えられている。これにより、請求項3の特徴によると、シートのシートベルトを案内部材に案内させることによって、シートのシートベルトにおける途中部分の位置を決めることができるのであり、シートのシートベルトが案内部材によって乗員（小人）の適切な位置を通るようにすることができる。

【0014】

【発明の実施の形態】図2に小人用のヘッドレスト1が示されている。小人用のヘッドレスト1は、乗員（小人）の頭部を支持する本体部2、本体部2の右横部分及び左横部分から前方に突出する横支持部3、及び本体部2の上端に備えられた取付部4が、一体的に形成されて構成されており、取付部4に取り付け用の一対の取付孔4aが備えられている。

【0015】図2に示すように右側及び左側の横支持部3の下側において、本体部2に取付孔2aが形成されており、図2に示す状態は「コ」字状の案内部材5が左側の取付孔2aに取り付けられた状態である。案内部材5

は本体部2の右側及び左側の取付孔2aに対して着脱自在に構成されており、本体部2の左側の取付孔2aから案内部材5を取り外して、再び本体部2の左側の取付孔2aに取り付けたり、案内部材5を本体部2の右側の取付孔2aに取り付けたりすることができる。

【0016】図1及び図3に示すように、車両のシート6が乗員が着座する座部7、背もたれ部8及びヘッドレスト9等を備えて構成されている。図3に示すように、ヘッドレスト9の下部に下向きに2本の支持ロッド9aが備えられており、背もたれ部8の上部の取付孔8aに、ヘッドレスト9の支持ロッド9aを挿入することによって、ヘッドレスト9を背もたれ部8に取り付けるのであり、背もたれ部8に対するヘッドレスト9の高さを調節する。

【0017】小人用のヘッドレスト1をシート6に取り付ける場合、図3に示すようにヘッドレスト9の支持ロッド9aを背もたれ部8の取付孔8aから取り外し、ヘッドレスト9の支持ロッド9aを、取付部4の取付孔4aに挿入して背もたれ部8の取付孔8aに再び挿入する。これにより、図1に示すように、ヘッドレスト9の支持ロッド9aから小人用のヘッドレスト1が吊り下げる状態となるのであり、本体部2を背もたれ部8に当て付けることによって、小人用のヘッドレスト1をシート6に取り付ける。この場合、図3に示すように円筒状のスペーサ10を取付部4の下側に通したり、高さの異なるスペーサ10に交換したりすることによって、シート1に対する小人用のヘッドレスト1の位置を上下方向に変更することができる。

【0018】図1に示す状態は、座部のみを備えて構成されたジュニアシート11を座部7に取り付けている状態であり、園児や児童等の乗員（小人）がジュニアシート11に着座すると、小人用のヘッドレスト1において、乗員（小人）の頭部が右側及び左側の横支持部3の間に入り込み、本体部2によって支持される。

【0019】この状態でシート6のシートベルト12を延ばし、本体部2の左側の取付孔2aから案内部材5を取り外して、案内部材5によりシートベルト12を案内しながら、案内部材5を本体部2の左側の取付孔2aに再び取り付け、シートベルト12の係止金具13を、シートベルトバックル14に取り付ける。このように案内部材5によってシートベルト12を案内することによって、シートベルト12が乗員（小人）の適切な位置（例えば乗員（小人）の肩部付近から胸部及び腹部を横切るような位置）を通る。

【0020】【発明の実施の第1別形態】図4に示すように、本体部2及び横支持部3に対して取付部4を比較的軟らかい材質で構成し、2個1組で複数組の取付孔4aを、取付部4に備えるように構成してもよい。これにより、図3に示すスペーサ10を使用せずに、図4に示す取付部4の取付孔4aのうち、所望の取付孔4aに図

3に示すヘッドレスト9の支持ロッド9aを挿入することによって、シート1に対する小人用のヘッドレスト1の位置を上下方向に変更する。

【0021】図4に示すように、右側及び左側の横支持部3の下側において、案内部材5を取り付ける取付孔2aを本体部2の上下方向に複数組に備え、所望の取付孔2aに案内部材5を取り付けることにより、案内部材5の取付位置を上下に変更できるように構成してもよい。

【0022】【発明の実施の第2別形態】図2に示す小人用のヘッドレスト1において、本体部2及び横支持部3に対して取付部4を別部材で構成し、取付部4に対する本体部2の取付位置を上下に変更できるようにして、シート1に対する小人用のヘッドレスト1の位置を上下方向に変更できるように構成してもよい。図2及び図4に示す小人用のヘッドレスト1において、本体部2にベルト(図示せず)を取り付け、ベルトを背もたれ部8に取り付けることにより、本体部2が背もたれ部8から前方や上方に浮き上がらないようにしててもよい。

【0023】図2及び図4に示す小人用のヘッドレスト1において、取付部4をヘッドレスト9の支持ロッド9aに取り付けるように構成するのではなく、取付部4に備えられた凸部(図示せず)を背もたれ部8の取付孔8aに挿入することによって、小人用のヘッドレスト1をシート6に取り付けるように構成してもよい。

【0024】図2及び図4に示す小人用のヘッドレスト1において、本体部2の右側及び左側の取付孔2aの両方に、案内部材5を取り付けるように構成してもよい。図2及び図4に示すような着脱自在な案内部材5ではなく、下向きのフック状の案内部材5を右側及び左側の横支持部3の下側の本体部2の部分に固定して、シートベルト12を右側又は左側の案内部材5に下側から挿入して、案内部材5によりシートベルト12が案内されるように構成してもよい。この場合、下向きのフック状の案内部材5を上下方向に複数個固定して、所望の案内部材5にシートベルト12を案内させるように構成してもよい。図1に示すジュニアシート11を使用しない状態でも、本発明の小人用のヘッドレスト1は使用することができる。

【0025】

【発明の効果】請求項1の特徴によると、園児や児童等の小人をシートに着座させて、シートのシートベルトを乗員(小人)に掛けた場合、乗員(小人)の頭部がシートのシートベルトに寄り掛かるような状態になることを避けることができる小人用のヘッドレストを提供することができて、小人用のヘッドレストを使用する乗員(小人)の快適性を向上させることができた。

【0026】請求項1の特徴によると、シートのヘッドレストの取付部に小人用のヘッドレストの取付部を取り付けるように構成することにより、小人用のヘッドレストの位置が決まり易いので、乗員(小人)の頭部がシ

トのシートベルトに寄り掛かるような状態になることを、適切に避けることができるようになって、小人用のヘッドレストを使用する乗員(小人)の快適性を向上させることができた。

【0027】請求項1の特徴によると、必要に応じてシートに取り付けたり取り外したりすることができる点、シートへの取り付け及び取り外しが楽に行えて、保管場所に大きなスペースを必要としない点、並びにシートのヘッドレストや取付部に改造等を施したり別のものに交換したりしなくとも、色々な車種のシートに取り付けたり取り外したりすることが可能になる点により、取扱性が良く汎用性の高い小人用のヘッドレストを提供することができた。

【0028】請求項2の特徴によると、請求項1の場合と同様に前述の請求項1の「発明の効果」を備えており、この「発明の効果」に加えて以下のようない「発明の効果」を備えている。請求項2の特徴によると、乗員(小人)の身長等に応じて、本体部及び横支持部が適切な位置となるように設定することができるので、機能性の高い小人用のヘッドレストを提供することができた。

【0029】請求項3の特徴によると、請求項1又は2の場合と同様に前述の請求項1又は2の「発明の効果」を備えており、この「発明の効果」に加えて以下のようない「発明の効果」を備えている。請求項3の特徴によると、小人用のヘッドレストにおいて、シートのシートベルトの位置を決めて案内する案内部材を右横側又は左横側に備えることにより、シートのシートベルトにおける途中部分の位置を決めることができ、シートのシートベルトが案内部材によって乗員(小人)の適切な位置を通るようにすることができるようになり、小人用のヘッドレストを使用する乗員(小人)の快適性を向上させることができた。

【図面の簡単な説明】

【図1】小人用のヘッドレストをシートに取り付けた状態を示す斜視図

【図2】小人用のヘッドレストの全体斜視図

【図3】小人用のヘッドレストの取付部をシートのヘッドレストの支持ロッドに取り付ける状態を示す斜視図

【図4】発明の実施の第1別形態における小人用のヘッドレストの全体斜視図

【図5】従来の技術におけるジュニアシートをシートの座部に取り付けた状態を示す斜視図

【符号の説明】

2 本体部

3 横支持部

4 取付部

5 案内部材

6 シート

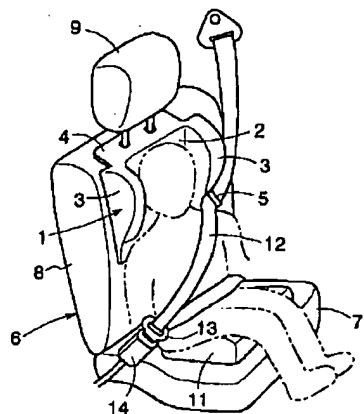
8 シートの背もたれ部

8a, 9a シートのヘッドレストの取付部

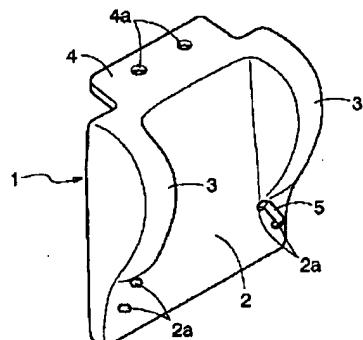
9 7
シートのヘッドレスト

12 8
シートのシートベルト

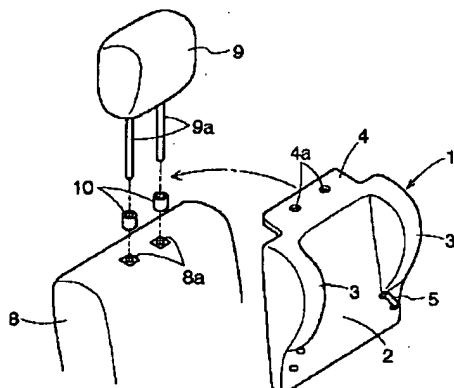
【図1】



【図2】

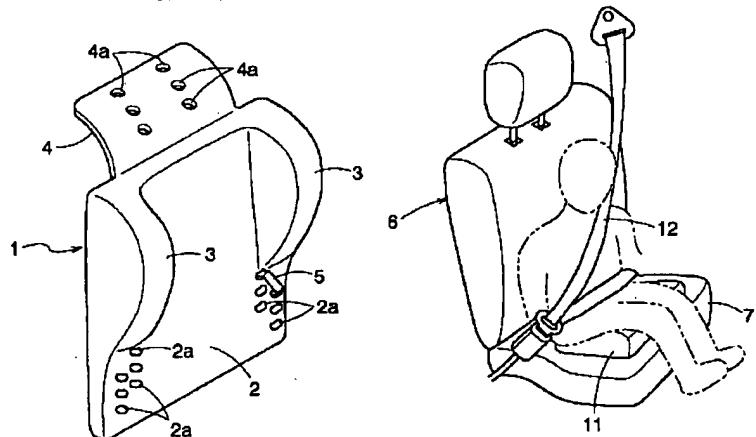


【図3】



【図5】

【図4】



PAT-NO: JP02001301507A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001301507 A
TITLE: HEAD REST FOR CHILD
PUBN-DATE: October 31, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TANAKA, SHINJI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
DAIHATSU MOTOR CO LTD	N/A

APPL-NO: JP2000119449

APPL-DATE: April 20, 2000

INT-CL (IPC): B60N002/48, A47C007/38 , B60R021/055 , B60R022/10 ,
B60R022/26

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent a head of a kindergarten child or a schoolchild from leaning against a seat belt of a seat when the kindergarten child or the schoolchild is seated on the seat to have the seat belt fastened on the kinderkrarten child or the schoolchild.

SOLUTION: This head rest for child 1 comprises a body part 2 applied to a backrest part 8 of the seat 6, horizontal supporting parts 3 protruded in front from a right side part and a left side part of the body part 2 and a mounting part 4 freely mountable and removable to and from a fitting part of a head rest 9 of the seat 6 to determine a position of the horizontal supporting parts 3.